

各 位

会社名 株 式 会 社 一 蔵代表者名 代表取締役社長 河端義彦

(コード:6186 東証スタンダード市場)

問合せ先 取締役財務経理本部長 数 見 康 浩

(TEL: 03-5297-5151)

## 「特定子会社の異動に関するお知らせ」の開示漏れについて

当社は、2021年5月21日付「資本金の額の減少に関するお知らせ」にて開示いたしましたとおり、2021年7月30日を効力発生日とする資本金の額の減少を行いました。この結果、当社の連結子会社であります株式会社京都きもの学院の資本金が当社の資本金の額の100分の10以上となり、特定子会社に該当することになったにもかかわらず、特定子会社の異動に関する上場規程に基づく開示並びに有価証券報告書における特定子会社の分類表記が過去においてなされていない事実が判明いたしました。

今回、開示が漏れておりました特定子会社につきまして、以下のとおりお知らせ申し上げますとともに、事後での開示となりましたことを、深くお詫び申し上げます。

記

#### 1. 特定子会社の概要

(2) 所在地 大阪府大阪市東淀川区東中島一丁目20番12号 (3) 代表者 代表取締役 河端 義彦 (4) 事業内容 ・きもの着付け教室の運営・和装小物、きもの、帯等の販売 (5) 資本金 10百万円 (6) 設立年月日 1952年2月1日 (7) 大株主及び持株比率 株式会社一蔵 100%	(1) 名称		株式会社京都きもの学院				
・きもの着付け教室の運営・和装小物、きもの、帯等の販売         (5) 資本金       10百万円         (6) 設立年月日       1952年2月1日         (7) 大株主及び持株比率       株式会社一蔵 100%         (8) 上場会社と当該会社との間の関係       人的関係       当社は、当該会社の株式を100%保有しております。         (9) 最近3年間の財政状況及び経営成績 決 算 期 2021年3月期 全022年3月期 全023年3月期 全023年3月期 全023年3月期 2023年3月期 2023年3月月 1、298百万円 1、298百万円 1、298百万円 1、298百万円 1、298百万円 1、298百万円 1、298百万円 1、298百万円 1、297日万円 1 2百万円 468百万円 9百万円 468百万円 513百万円 468百万円 2百万円 468百万円 9百万円 468百万円 3百万円 7百万円 1株当たり当期純利益 △53、392円99銭 186円27銭 385円46銭	(2) 所在地		大阪府大阪市東淀川区東中島一丁目20番12号				
(4) 事業内容       ・和装小物、きもの、帯等の販売         (5) 資本金       10百万円         (6) 設立年月日       1952年2月1日         (7) 大株主及び持株比率       株式会社一蔵 100%         (8) 上場会社と当該会社との間の関係       上場会社と当該会社と当該会社と当該会社と当該会社と当該会社と当該会社と当該会社と当該	(3) 代表者		代表取締役 河端 義彦				
・和装小物、きもの、帯等の販売         (5) 資本金       10百万円         (6) 設立年月目       1952年2月1目         (7) 大株主及び持株比率       株式会社一蔵 100%         (8) 上場会社と当該会社との関係       当社は、当該会社の株式を100%保有しております。         (8) 上場会社と当該会社との関係       上場会社と当該会社と当該会社と当該会社と当該会社と当該会社と当該会社に対して経営指導を行っております。         (9) 最近3年間の財政状況及び経営成績       決算期 2021年3月期 2022年3月期 2023年3月期       2025年3月期       2025年3月期       2025年3月期       2025年3月期 <t< td=""><td colspan="2" rowspan="2">(4) 事業内容</td><td colspan="4">・きもの着付け教室の運営</td></t<>	(4) 事業内容		・きもの着付け教室の運営				
(6) 設立年月日 1952年2月1日			・和装小物、きもの、帯等の販売				
株式会社	(5) 資本金		10百万円				
当社は、当該会社の株式を100%保有しております。   当社の取締役 3名が当該会社の取締役を兼任しております。   当社は、当該会社より資金の借入を行っております。   当社は、当該会社より資金の借入を行っております。また当該会社に対して経営指導を行っております。   1,087百万円 1,090百万円 1,098百万円 1,098百万円 1,295百万円 1,295百万円 1,284百万円 1,239百万円 1 株当たり純資産 54,355円38銭 54,541円64銭 54,927円10銭売 上 高 464百万円 513百万円 468百万円 営 業 利 益 △67百万円 1百万円 2百万円 経 常 利 益 △51百万円 1百万円 2百万円 1株当たり当期純利益 △3,392円99銭 186円27銭 385円46銭	(6) 設立年月日		1952年2月1日				
資本関係 おります。   おります。	(7) 大株主及び持株比率						
A		資本関係	弄	当社は、当該会社の株式を100%保有して			
大的関係   兼任しております。   単社は、当該会社より資金の借入を行っております。また当該会社に対して経営指導を行っております。   1、9のます。また当該会社に対して経営指導を行っております。   2022年3月期   2023年3月期   2023年3月月   10098百万円   1 2098百万円   1 2098百万円   2 209			おります。				
大の間の関係   大の関係   兼任しております。   単社は、当該会社より資金の借入を行っております。また当該会社に対して経営指導を行っております。   1、9のます。また当該会社に対して経営指導を行っております。   2022年3月期   2023年3月期   2023年3月			\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	· II	1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1		
当社は、当該会社より資金の借入を行っております。また当該会社に対して経営指導を行っております。   1、09 最近3年間の財政状況及び経営成績   2022年3月期   2023年3月期   2023年3月1			人的関係				
取引関係 おります。また当該会社に対して経営指導を行っております。  (9) 最近3年間の財政状況及び経営成績 決 算 期 2021年3月期 2022年3月期 2023年3月期 純 資 産 1,087百万円 1,090百万円 1,098百万円 2025年3月期 1,295百万円 1,284百万円 1,239百万円 1,239百万円 1,239百万円 1,241円64銭 54,927円10銭 54,541円64銭 54,927円10銭 54 第 利 益 △67百万円 1百万円 2百万円経 常 利 益 △51百万円 6百万円 9百万円 3 月 利 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1				木	せ仕してわりより。		
取引関係 おります。また当該会社に対して経営指導を行っております。  (9) 最近3年間の財政状況及び経営成績 決 算 期 2021年3月期 2022年3月期 2023年3月期 純 資 産 1,087百万円 1,090百万円 1,098百万円 総 資 産 1,295百万円 1,284百万円 1,239百万円 1 株当たり純資産 54,355円38銭 54,541円64銭 54,927円10銭 売 上 高 464百万円 513百万円 468百万円 営 業 利 益 △67百万円 1百万円 2百万円 経 常 利 益 △51百万円 6百万円 9百万円 当 期 純 利 益 △67百万円 3百万円 7百万円 1 株当たり当期純利益 △3,392円99銭 186円27銭 385円46銭				当社は 当該会社より資金の借入を行って			
(9) 最近3年間の財政状況及び経営成績 決 算 期 2021年3月期 2022年3月期 2023年3月期 純 資 産 1,087百万円 1,090百万円 1,098百万円 総 資 産 1,295百万円 1,284百万円 1,239百万円 1 株当たり純資産 54,355円38銭 54,541円64銭 54,927円10銭 売 上 高 464百万円 513百万円 468百万円 営 業 利 益 △67百万円 1百万円 2百万円 経 常 利 益 △51百万円 6百万円 9百万円 当 期 純 利 益 △67百万円 3百万円 7百万円 1 株当たり当期純利益 △3,392円99銭 186円27銭 385円46銭			取引関係				
決算期2021年3月期2022年3月期2023年3月期純資産1,087百万円1,090百万円1,098百万円総資産1,295百万円1,284百万円1,239百万円1 株当たり純資産54,355円38銭54,541円64銭54,927円10銭売上高464百万円513百万円468百万円営業利益△67百万円1百万円2百万円経常利益△51百万円6百万円9百万円当期純利益△67百万円3百万円7百万円1株当たり当期純利益△3,392円99銭186円27銭385円46銭							
<ul> <li>純 資 産 1,087百万円 1,090百万円 1,098百万円</li> <li>総 資 産 1,295百万円 1,284百万円 1,239百万円</li> <li>1 株当たり純資産 54,355円38銭 54,541円64銭 54,927円10銭</li> <li>売 上 高 464百万円 513百万円 468百万円</li> <li>営 業 利 益 △67百万円 1百万円 2百万円</li> <li>経 常 利 益 △51百万円 6百万円 9百万円</li> <li>当 期 純 利 益 △67百万円 3百万円 7百万円</li> <li>1 株当たり当期純利益 △3,392円99銭 186円27銭 385円46銭</li> </ul>	(9) 最近3年間の財政状況及び経営成績						
総 資 産 1,295百万円 1,284百万円 1,239百万円 1株当たり純資産 54,355円38銭 54,541円64銭 54,927円10銭売 上 高 464百万円 513百万円 468百万円営業利益 △67百万円 1百万円 2百万円経常利益 △51百万円 6百万円 9百万円当期純利益 △67百万円 3百万円 7百万円 1株当たり当期純利益 △3,392円99銭 186円27銭 385円46銭	決 算 期	20	2021年3月期		2022年3月期	2023年3月期	
1 株当たり純資産     54,355円38銭     54,541円64銭     54,927円10銭       売 上 高 464百万円     513百万円     468百万円       営 業 利 益 △67百万円     1百万円     2百万円       経 常 利 益 △51百万円     6百万円     9百万円       当 期 純 利 益 △67百万円     3百万円     7百万円       1株当たり当期純利益 △3,392円99銭     186円27銭     385円46銭	純 資 産		1,087百万円		1,090百万円	1,098百万円	
売     上     高     464百万円     513百万円     468百万円       営     業     利     益     △67百万円     1百万円     2百万円       経     常     利     益     △51百万円     6百万円     9百万円       当     期     純     利     益     △67百万円     3百万円     7百万円       1株当たり当期純利益     △3,392円99銭     186円27銭     385円46銭	総 資 産	1,295百万円		9	1,284百万円	1,239百万円	
営業利益     △67百万円     1百万円     2百万円       経常利益     △51百万円     6百万円     9百万円       当期純利益     △67百万円     3百万円     7百万円       1株当たり当期純利益     △3,392円99銭     186円27銭     385円46銭	1株当たり純資産		54, 355円38銭		54,541円64銭	54,927円10銭	
経常利益△51百万円6百万円9百万円当期純利益△67百万円3百万円7百万円1株当たり当期純利益△3,392円99銭186円27銭385円46銭	売 上 高	464百万円			513百万円	468百万円	
当期純利益     △67百万円     3百万円     7百万円       1株当たり当期純利益     △3,392円99銭     186円27銭     385円46銭	営 業 利 益	△67百万円			1百万円	2百万円	
1株当たり当期純利益 △3,392円99銭 186円27銭 385円46銭	経 常 利 益	△51百万円			6百万円	9百万円	
	当 期 純 利 益	△67百万円			3百万円	7百万円	
1 株 当 た り 配 当 金 ー 円 ー 円 ー 一 円	1株当たり当期純利益		△3, 392円99銭		186円27銭	385円46銭	
	1株当たり配当金		— P	9	一円	一円	

# 2. 特定子会社の異動年月日 2021年7月30日

### 3. 原因と再発防止策

今回の件につきましては、当該開示基準の認識不足並びに相互確認体制の未徹底により発生した ものと認識しております。今後、かかることがないよう適時開示基準の研修並びに相互確認体制の 強化により、再発防止に努めてまいります。

### 4. 今後の見通し

本件による2024年3月期の連結業績に与える影響はないものと認識しておりますが、今後開示すべき事項が発生した場合には、速やかにお知らせいたします。

なお、臨時報告書につきましても提出を予定しております。

以 上